

里山シンポジウム実行委員会議事録(案) 2005/8/20

まとめ 事務局 荒尾 稔作成

今回は、小西副会長様より議事録案をお願いいたしました。

第11回目の委員会会議が行われました

日時 8月18日(木)18:00より21:00まで

場所 千葉市中央コミュニティーセンター 52講習室。

参加者:

金親博榮 / 小西由希子 / 栗原祐治 / 中村俊彦 / 荒尾 稔 / 相馬由起子

ちば里山センター(堀田)

委員: 上善峰男 / 稗田忠弘 / 福満美代子 / 田中正彦 / 林みね子 / 鈴木優子 /

同行参加: ラジブ シュレスタ(rajeeb shirestha)さん、ネパール王国から千葉大学大学院人文科学専攻

欠席者: 木下啓三 / 田代武男 / 田中昭夫 / 横山武 / 井村弘子 / 遠藤勇 / 遠藤陽子 / 中野真樹子 / 荒尾繁志 / 加藤賢三 / 桑波田和子 / 宮村賢治 / 小島 望 / 川上 寿子 / 藪内 俊光

はじめに

栗原祐治さんより、同行参加のラジブ シュレスタさんの紹介がありました。同氏は、日本のNPO運動に関心が

あって、同行を依頼されたとのことでした。本人からのプロフィールを、別途紹介します。

議題

議題1 NPO推進課ヒヤリング・・・県から課長・担当者・NPO関係者など5人出席。今回のヒヤリングは、事前に以下の要望分が届いており、それに応える形で、参加者一人一人が発言を行い、NPO推進課が委託された、委員会の委員との質疑応答の形で、忌憚のないヒヤリングが行われました。

(事前要望文書から抜粋)

以下、NPO推進課の内山さんからのメッセージです。

千葉県(NPO活動推進課)では、市民活動団体をはじめとするNPOの活動、県民の自発的な活動が日本で最も盛んな県を目指して、平成14年11月に千葉県NPO活動推進指針を策定し、この指針にある27の行動計画に基づき、各種事業を進めてきました。

この行動計画が17年度までとなっていることから、17年度中に、これまでの取組を検証し、指針を見直し新たな行動計画をつくることとしています。

計画づくりは、千葉県NPO活動推進委員会委員とNPO活動推進課職員が作業グループをつくって進めていきます。骨子や中間報告の段階で、県民・NPOを対象にしたタウンミーティングを開催することにしていますが、その前の初期の段階(7月~8月)で、これまでの取組の検証作業を進めつつ、市民活動の現状や課題、行政は何をなすべきか、などについて、地域の市民団体や分野別の市民団体の人たちと意見交換したいと考えています。

ついては、この一環として、ぜひ里山シンポジウム実行委員会に作業グループのメンバーがおじゃまさせていただいて、実行委員の皆さんと意見交換をさせていただきたいとお願いいたします。

議題2 第2回里山シンポジウム報告書作成に関して

委員の方(川上さん)に依頼してテープ起こしをお願いし、パネルディスカッションの後半を除き既に受領しています。

ア：基調講演・・・原先生、校正済み

イ：14分科会報告(2分)・・・テープ起こし済み。生物・ピオトープ分科会、教育・学習分科会・食分科会・政策分科会は、確認済み。他分科会も、テープ起こし原稿(メールにて発信済み)を確認、手直ししてください。

ウ：各分科会報告(A4 2ページのもの)・・・各分科会で、すでに荒尾さんにお送り下さったものに目を通し、校正しました。出席されなかった分科会の方は、荒尾さんとやりとりして校正をお願いします。また、原稿提出がまだの分科会は早めに提出してください。

会計・・・相馬さんに領収書を渡した方は、精算済み。まだの方はお早めに。
テープ起こしして下さった川上さんに、3万円謝礼することに。

議題3 里山センターの動き、各団体の動き

- ・里山センターに、「里山情報バンク」ができました。
- ・日航関連会社から100名のボランティアを受け入れ(10月22日)(桜宮自然公園をつくる会、ちば環境情報センター協力)
- ・小学校の生徒の里山勉強会(10月25日)多古町久賀小学校生徒40名以上(桜宮自然公園をつくる会協力)

議題4 イオン助成金

来年度のシンポジウム開催と、里山学習会、フィールドワーク実施に、110万円申請。副知事の大槻さんが推薦者になってくださいました。20日締めきりのため、19日、金親さんが持参してくださいました。

議題5 第3回シンポジウム開催に関して

- 活発な意見交換が行われ、基本として第2回里山シンポジウムを開催することが合意されました。
- ・協力してくれる市町村を公募してはどうか?
 - ・植樹祭に合わせることは、意識しないでもいいのではないか。
 - ・全大会は、夏休み前までの期間で、分科会は、数ヶ月にかけて緩やかに行った方がよい。
 - ・農業関係では5月は、田植えと重なるので避けたい。
 - ・色々な分科会に参加したいので、2回目のごとく短期間集中は、色々な意味で避けたい
 - ・5月に集中して行うのは慌ただしいので、時期を考えてはどうか?など
 - ・分科会開催場所は、それぞれの分科会単位で、検討を頂きたい(第2回に準拠と言うこと?)
 - ・全体会の開催地に関しては、千葉県下の市町村からの公募で募集する。里山シンポジウム実行委員会による公募 審査で決定する

議題6 この会議の今後の進め方について

- (1) 荒尾さんより提案
 - ・アサザ基金の飯島さんやスローフードの金丸さんをお呼びしてお話を聞くのはどうか?
 - ・福満さんより 里山シンポジウム実行委員会開催の学習会となると、夜の時間でも無理して都合をつけてく ることになり、遠方の方は負担ではないか?
- (2) 結論として、各団体で学習会や体験などのイベントを開催し、それを実行委員会みんなに広報して随時参加してもらう方法でいきましょう。
- (3) 金親会長より発案で・月1回くらいのペースで、集まりをしましょう。(次回シンポの準備・連絡など)

以上です。